

## 花交の池

花交の滝が流れこむ池が花交の池です。土手は滑らかで窪んでおり、中央には草が生い茂る小さな島（中の島）が浮いています。この池から流れる水は、庭園内を蛇行して旭川に注ぐ曲がりくねった小川（曲水）の源流となっています。

池の名前の「花交」は「いろいろな花」という意味です。庭園ができた当初、滝や池の周りには山桜や四季折々の花を咲かせる低木があり、「花交」と呼ばれる小屋から楽しむことができました。これらの木々も建物も現存していませんが、名前が昔の面影を残しています。現在、池の周りはモミジに囲まれ、池へと続く小道には木立が立ち並び鬱蒼としています。